



サンティアゴ旧市街に 隠された暗号を探そう！

～ガイドブックには載らない、街に刻まれた「ゲーム盤」～

堀いつこ

メルマガ読者限定PDF

© 2026 OTRA SPAIN / ITSUKO HORI

※本PDFの無断転載・複製・二次配布を禁じます



サンティアゴの街角に、 誰も気づかない「遊びの跡」がある

サンティアゴの旧市街を歩いていると、石畳や階段、ベンチに刻まれた「小さな丸い穴」や「碁盤のような模様」を見ることができます。

実はこれ…

17世紀から18世紀、バロック様式で街が華やかに飾られていく影で、その日暮らしをしていた名もなき庶民たちが残した「遊びの跡(Pai fillo nai (パイ・フィジョ・ナイ)=三目並べ、○×)」なのです。

当時、修道院や王立病院の前で施しを求める長い行列ができていました。何時間も続く待ち時間の間、彼らは退屈を紛らわせるために、硬い花崗岩の地面やベンチに「ゲーム盤」を刻みました。

当時の庶民の暮らしを物語る、小さな歴史の証人です。
その数は、なんと200枚以上！

しかし、地元の人でも気づく人は多くありません。
サンティアゴの街を歩くとき、ただ“美しい街”として見るのと、そこに生きた人々の息遣いを感じながら歩くのでは、まったく違う旅になります。

このPDFでは、街角に眠る「石のゲーム盤」を、あなたが自分の目で発見できるように シンプルにご案内します。

まずはここから探してみよう

多くの石盤が見つまっている
「探しやすい場所」を3つ紹介します。

#01



サン・マルティン・
ピナリオ修道院前
の階段付近

石のゲーム盤が多く
集中しています。
9つの穴だけではなく、
線をひっぱったもの
も見つかります。

#02



オブラドイロ広場
の石のベンチ

多くの巡礼者が座っ
て休憩するあの場所
にも、実はひっそりと
刻まれています。

#03



パラドールの入口
鎖がかかっている
スペース

かつて巡礼者を癒や
した病院。
入り口スペースにも
隠れています。



“街の小さな宝探し”を楽しんでみませんか？

これらの穴は300年以上の風雨にさらされ、浅くなっています。

真上からの強い光や、完全に曇ったフラットな光の中では、石の模様に同化して見つらいものもあります。

朝夕の斜めから光が差す時間帯、また雨上がりに石が濡れてコントラストが強まる時がおすすめです。

もしあなたがサンティアゴを訪れることがあれば、是非街歩きの途中で立ち止まり、石のゲーム盤を探してみてください。

- ここで遊びながらどんな会話をしていたのだろう
- なぜこんな場所に刻んだのだろう

そう思いを巡らせながら歩くと、旅がより味わい深いものになります。



これは、ほんの「入口」にすぎません

今回の「石のゲーム盤」探し、いかがでしたか？

大聖堂のすぐ足元に、300年前の人々の「遊び心」や「ため息」が隠されています。そして、サンティアゴにはガイドブックには載らない「誰かに話したくなる物語」がまだまだ眠っています。

私のメルマガでは、定期的に“小話”や“現地の裏側”をお届けします。

この街の「体温」や「日常」をもっと知りたいなら、ブログ『オトラスペイン』を。

 [公式ブログ「オトラスペイン」へ](#)

そして、サンティアゴで表面的な観光で終わらせるのはもったいない、あなただけの特別な体験を作りたいなら、ぜひ私のガイドを頼ってください。

あなたの旅を、忘れられない「体験」に変えるお手伝いをします。

私と一緒に違う角度からサンティアゴを歩きたくになったら

 [サンティアゴプライベートツアーの内容や体験者の声を知る。](#)